

一般社団法人東京都産業資源循環協会
会長 高橋俊美 殿

東京労働局労働基準部長



廃棄物処理業における労働災害防止の徹底について

日頃より、労働災害防止に特段の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

東京都内の廃棄物処理業の休業 4 日以上の労働災害は、令和元年 9 月末時点で 133 件と、昨年同時期と比較して 34 件 (34.3%) の大幅に増加しています。

中には、休業 6 か月以上となる重篤な災害も見られ、憂慮される状況です。

労働災害の内容を見ると、コンベアや動力機械、トラックのあおり等への「はさまれ・巻き込まれ」が 26 件と昨年同時期と比較して約 2 倍近く増加しており、同様に荷を無理な体勢で持ち上げた際の腰痛、トラックからの昇降時の捻挫といった「動作の反動・無理な動作」が 26 件と約 7 割の増加となっています。次いで、「墜落・転落」が 19 件、「転倒」が 18 件となっており、これらの災害で全体の 3 分の 2 を占めている状況になっております。

貴会におかれましては、下記事項をはじめとした労働災害防止のための一層の取組の強化を図られますよう、傘下会員事業場を始めとした都内の廃棄物処理業者に対して、周知・指導いただきたく要請します。

記

1. 設備ラインでの機械の詰まりや清掃時において、機械への巻き込まれ災害を防止するため、危険な箇所への覆い・囲い等の確実な設置とともに、機械の清掃時等には必ず機械を止めて作業させ、修理作業中の表示やスイッチのロック等の設備面での災害防止対策を充実させること。
2. 廃棄物回収現場における作業手順書を確実に作成し、トラック等への積み込み時には、回転板や押し込み板等の運動部分に近づかない等の、廃棄物の形状・重量等を考慮した作業を行わせること。
3. トラック等の座席や荷台からの昇降時にバランスを崩す等による災害を防止するため、乗車または降車時に飛び乗り又は飛び降りさせないこと。
4. 入社時や配置転換時に確実に安全衛生教育を実施するとともに、定期的に安全衛生教育を実施し、作業手順書で定められた安全な作業を行わせること。

参考：災害事例

(1) 廃棄物回収現場

年齢・性別	被災程度	災害の概要
50代男性	休業3か月	トラックの荷台から地面に飛び降りた際、誤って足首を強くひねりながら着地し、負傷した。
30代男性	休業3か月	粗大ごみの収集中、1m以上の高さの塀に足をかけながら粗大ごみをトラックに載せる際、バランスを崩して足を負傷した
50代男性	休業2か月	パッカー車にて、中に引っかかった廃棄物を取り出そうとして、後部の回転板に手をはさまれた。
40代男性	休業2か月	廃棄物回収中に、廃棄物(板状の長尺プラスチック)がプレスされたときにはねて、負傷
30代男性	休業2か月	トラックの後ろのあおりをセットした際に、あおりが外れ、足に落下して負傷。
40代男性	休業1か月	廃棄物を積んだトラックの荷台から後ろ向きで降りる際、足が荷物に引っかかり負傷した。

(2) 工場・処分場等

年齢・性別	被災程度	災害の概要
20代男性	休業6か月	コンベアで作業中、当該コンベアを停止せずに詰まった土を棒で掻き出していたところ、腕が巻き込まれて負傷。
70代男性	休業3か月	コンベアを停止せずに清掃を行い、清掃工具と手を巻き込まれて負傷
50代男性	休業2か月	廃棄物をトラックの荷台から積み降ろす際、ロープがからんだので荷台の上に登り、立ち上がった際に、オーバーハング部に体重がかかり、落下した。
50代男性	休業2か月	破碎機内で作業を行っていたところ、他の作業員が破碎機のスイッチを入れて作動させてしまったため、破碎機内の回転軸に足をはさまれた。
40代男性	休業2か月	トラックの荷台の荷降ろし作業中に荷台から荷物が落下して足の指にあたり負傷
30代男性	休業1か月	廃棄物の積み込み作業時に、コンテナと重機のハサミの間に手を挟まれた。